

12月4日(月)～10日(日)は、人権週間です。

この機会に人権について考えてみましょう。
12月10日(日)は、「世界人権デー」です。



生涯学習だより

◎ 教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

インターネットは、世界中の人や物をつなぐとても便利なツールです。
しかし、使い方を間違えると、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけとなったり、人を傷つける「凶器」になったりもします。守るべき権利があることを忘れずに使いましょう。

【ネットいじめ】の事例

● 無料通信アプリのグループから外されたり、再三にわたり同級生からネット上に陰湿な悪口を書かれたりしました。また、書き込まれた悪口が拡散し、学校に行けなくなりました。

身近なトラブルの事例

【著名人への誹謗中傷】の事例

● 気に入らない著名人の悪口をネット上で見つけ、他の人もしていることだからと、悪口を書いたり拡散したりしたところ、同じような悪口や嫌がらせの投稿がどんどん広まってしまいました。

➡ インターネット上でのやり取りでは、直接会って話すよりも、お互いの感情を読み取りにくく誤解が起こりやすい傾向があります。冗談のつもりで送ったメッセージや投稿が相手を傷つけたり、追い詰めたりすることを知っておきましょう。

➡ インターネットは匿名のように見えても、投稿者の特定ができる仕組みがあり、このような場合、虚偽の投稿によって名誉を傷つけられたとして、最初に投稿した人だけでなく、再投稿や拡散した人も訴えられ、損害賠償を請求される可能性があります。

知えよう！ インターネット と人権

人権を守るために

- 発信する前に誰かを傷つけることがないか考えましょう。
- 困った時は、1人で悩まず、相談しましょう。悩みに応じたさまざまな相談窓口があります。「違法・有害情報相談センター」^{ひぼうちゆうじょう}「人権相談」「誹謗中傷ホットライン」「インターネット・ホットラインセンター」など

君は間違えてない??

インターネットの使い方 Check!

- 冗談のつもりで、他の人やお店に関するウソや大げさな表現を含んだ投稿をしたことがある。
- ネットに投稿するとき、普段の話し方よりも強い口調になる。
- 他の人に対する批判や自分の意見をよく書き込んでいる。
- 自分や他の人が写った写真や動画を日常的に投稿している。
- インターネットで知り合った人に、自分の写真を送ったり、直接会ったりしたことがある。
- SNSに投稿するとき、普段、人と話すときよりも、つい強い口調になる。
- 面白いと思った投稿や共感できる投稿を見つけたら、できるだけ拡散する。

該当がある方は、
気を付けよう!

松田町人権教育研修会(兼)町民大学

- ◎ 12月2日(土)
午前10時～11時30分
- ◎ 生涯学習センター 展示ホール
- ◎ 「子どもが子どもらしく生きられるように～ヤングケアラーを知ろう～」
- ◎ 神奈川県教育委員会スクール・ソーシャル・ワーカー スーパーバイザー ^{わたなべ きょうこ} 渡邊 香子さん